

令和元年度 事業報告書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

特定非営利活動法人ぽんぽん船

- ・第1回理事会
開催年月日 令和元年5月17日（金）
開催場所 障がい者自立支援事業所ぽんぽん船（出雲市多伎町多岐892-7）
出席理事 8名（理事人数8名）
議決事項の概要
 - ・平成30年度事業報告及び活動計算報告について
 - ・令和元年度事業計画及び活動予算（案）について

- ・通常総会
開催年月日 令和元年5月25日（土）
開催場所 障がい者自立支援事業所ぽんぽん船（出雲市多伎町多岐892-7）
出席会員 58名（うち表決委任者42名）／会員総数63名
議決事項の概要
 - ・平成30年度事業報告及び活動計算報告について
 - ・令和元年度事業計画及び活動予算（案）について

- ・第2回理事会
開催年月日 令和元年11月29日（金）
開催場所 障がい者自立支援事業所ぽんぽん船（出雲市多伎町多岐892-7）
出席理事 6名（理事人数8名）
議決事項の概要
 - ・令和元年度積立金の積み立てについて

- ・第3回理事会
開催年月日 令和2年3月18日（金）
開催場所 障がい者自立支援事業所ぽんぽん船（出雲市多伎町多岐892-7）
出席理事 7名（理事人数8名）
議決事項の概要
 - ・令和2年度事業計画及び活動予算（案）について
 - ・職員の退職について
 - ・ぽんぽん船通所交通費の補助について

1 事業の成果

「障がい者自立支援事業を中心に、障がいのある方の自立した日常生活、社会生活の支援を行い、ノーマライゼーションの町づくりを推進する」という本法人の目的に沿い、下記事業を実施した。

①【障がい福祉サービス事業】

障がい者の就労支援として、日中活動の場・就職に向けての総合的な訓練の場となるよう、個々に合った働き方を提供していくため、事業所の中での作業だけではなく、外部との関わりも大切にしながら、地域の企業や農業関係者等と連携して、多様な職種に取り組んできた。

[菓子製造]

型から手作りのオリジナルクッキーとフードプリンターによるプリントクッキー、両方を組み合わせてのクッキー等、デザイン・予算ともに、顧客のニーズにあった商品を提案・提供することで、常連客の他、新たな注文も増加し続けている。プリントクッキーが周知されたことで客層にも広がりがみられ、注文が増えている。

個別注文の他、11店舗で販売しているが、店舗ごとの売上状況を把握し、欠品のな

いよう計画的に製造・納品することで売上アップにつながっている。また、クッキーの飾りつけや生地づくり等、利用者一人ひとりが新たな作業に挑戦してレベルアップするとともに、クッキーの飾りつけが一度でできる治工具等を工夫したり、作業環境を改善することでスピードアップにもつながっている。

昨年3月より販売を開始した(株)多伎振興とのコラボ商品「KIRARAキラ★キラcookies」の製造により、利用者の製造技術が向上している。同時に、地域と連携した付加価値の高い商品づくりや販路拡大による、安定した作業量・作業収益の確保が工賃向上につながっている。

[農作業（農福連携事業）]

平成25年度から3年間、島根県「障がい福祉と農業との連携促進事業（農福連携事業）」の中の「障がい者に適した作業改善、就労形態の実証研究」として、島根県農業技術センターにおいてモデル事業を実施してきた。この実証研究の一環として、平成27年度より地域の農家と契約をし、ぶどうハウスでの作業を実施してきた。平成27年度は1軒の農家での実施であったが、ていねいで正確な作業が評価され、平成28年度は4軒、H29年度は6軒、H30年度は7軒、R元年度は新規の農家さんを含めた7軒のぶどう農家での作業に取り組んだ。

ぶどう農家のニーズが高まることで、作業依頼が集中することもあり、島根県障がい者就労事業振興センターの農福連携担当者や、農福連携事業に取り組んでいる他の就労継続支援B型事業所等と連携・情報交換しながら、作業を進めてきた。

経験の積み重ねにより技術・スピードともにアップしている。ぶどう農家からの期待は大きく、年度内に複数の農家から次年度の作業予約が入っている。農家や関係者から評価・期待されることは、利用者・職員の励みとなっている。

[清掃業務]

出雲市より、田儀農村広場・シーサイド公園のトイレ清掃業務を継続して請負い、年間を通して安定した作業となっている。また、社会福祉法人多伎の郷 認知症グループホーム はなんばの里の清掃業務は、マナーや清掃の手順・技術を身につけ、短時間ではあるが週4日の安定した作業となっている。新たな利用者にも参加していただき、施設外就労を通して地域の方と関わり、交流をするとともに、適度な緊張感を持ちながら作業を行うことで、社会の中で働く力を身につけていく訓練の場にもなっている。

[請負作業]

(株)ナカバヤシの作業を中心に取り組む。複数の作業を年間通して行い、また、治工具等を工夫することで、より多くの利用者が作業に関わることができた。(株)かみありづきの他、令和元年度は、新たに(株)河内の内職作業に取り組み、少人数ではあるが高度なボンド付けの技術を身につけることができた。各企業から、確実・丁寧な作業を評価され、安定した作業量を確保することができている。

[アルミ缶リサイクル]

地域住民をはじめとし、(株)多伎振興・(株)三笠産業等、地域の企業のみなさまのご協力により、例年並みのアルミ缶をリサイクルすることができた。缶の引取り価格の引下げにより収入は減少したが、安定した作業量・作業収益の確保につながっている。

②【相談支援事業】

障害福祉サービス等を利用しながら、自宅での安定した地域生活が継続できるよう、本人のニーズをもとに関係機関と連携し、社会資源等の調整を行う等、相談支援事業に取り組んできた。旧出雲市・大社町・多伎町の障がい児5名・障がい者1名の相談支援を担当してきたが、障がい者1名は、障害福祉サービスから介護保険サービスの対象となり、担当のケアマネージャーに引き継ぎを行っている。

③【地域生活支援事業】

日中一時支援事業を実施。地理的な条件等により、令和元年度の利用希望はなかったが、長期休暇中の充実した活動支援・家族の負担軽減等、今後も地域のニーズに応えることができるよう事業を継続していく方向である。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額 単位（千円）
①障がい福祉サービス事業	就労継続支援B型	通年	障がい者自立支援事業所 ぽんぽん船	6名	24名	37,409
②相談支援事業	指定特定相談支援事業	通年	障がい者自立支援事業所 ぽんぽん船	1名	6名	985
③地域生活支援事業	日中一時支援事業	随時	障がい者自立支援事業所 ぽんぽん船	0名	0名	0